日本共産党 北区議会議員
ののの山けん 区政レポート
No.709 2024.2.7
日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22
ご相談はお気軽に 090-2156-3510
https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

2.4 したまちアクション　赤羽で集会&繁華街をパレード

戦争の時代を平和な時代へ

4日、赤羽公園で「戦争の時代を平和な時代へ」のスローガンを掲げた「したまちアクション」（同実行委員会主催）が開かれ、約70人が参加。集会後は、東本通りや赤羽駅前など、赤羽の繁華街をパレードしました。（のの山けん）

集会では、タワマンを呼び込む赤羽駅東口市街地再開発計画から赤羽小・赤羽公園・駅前商店街を守る運動や、補助86号線計画を止め、赤羽自然観察公園を「100年の森」に育てる運動、パレスチナ・ガザにおけるジェノサイド、ウクライナ戦争をやめさせる運動、土地規制法による十条自衛隊駐屯地周辺の監視活動の中止を求める運動など、区内で取り組まれている市民運動の代表らが、リレートークでアピールを行いました。

自民党裏金疑惑の徹底解明を

私は、国民の怒りの的となっている政治資金パーティーを利用した裏金づくり疑惑の徹底解明を求めるとともに「市民の運動で、金権腐敗に染まった自民党政治を終わらせよう」と訴えました。

防災イベント開催へ

岩淵町まちづくり協議会が第9回定例会

1日、岩淵小で岩淵町まちづくり協議会が第9回定例会を開催。3月2日には、リニューアルされるかっぱ広場のお披露目をかねて、「いわぶちまち防災オープンDAY」を開催することが決まりました。（のの山けん）

リニューアル間近のかっぱ広場

赤羽駅東口再開発「第二・第三地区」準備組合が

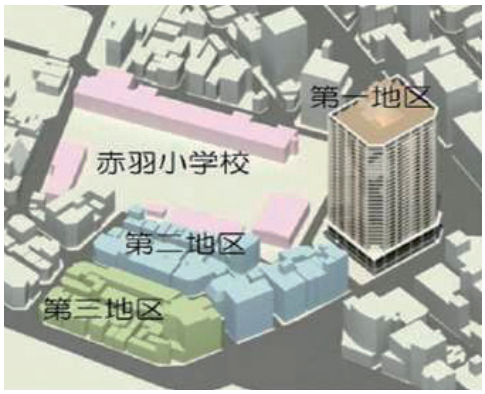
赤羽小との一体開発を要請

1日、地域開発特別委員会が開かれ、赤羽駅東口のまちづくりについて現況の報告がありました。

税金投入は57億円から75億円へ増額

すでに都市計画決定されている「第一地区」は、この1月31日に組合設立が認可され、事業計画書が縦覧に付されています。

新たな事業計画では、2層の予定だった商業施設が3層となり、住宅戸数が約300戸から269戸に変更。総事業費が約184億円から約238億円に増額されたことに伴い、税金の投入となる区の補助金は、約57億円から約75億円に引き上げられます。



現実味帯びる赤羽小学校の移転

一方、検討が進められている「第二地区」「第三地区」では、両地区が連携して、赤羽小学校を含めた敷地で一体的なまちづくりの検討を行うことを臨時総会で意思決定し、北区に要請書を提出しました。

両地区と赤小との一体開発となれば、北区が最大の地権者として再開発を主導的にけん引する役割を発揮することになり、赤羽小の移転や、超高層の再開発ビルの中に学校を取り込む案も現実味を帯びることに。

引き続き、徹底した住民参加でのまちづくりの議論が必要です。（のの山けん）

3月8日に第4回基本計画策定検討会

第4回赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会は3月8日（金）午後4時より北とぴあで開催。傍聴希望者は2月13～20日の間に北区まちづくり推進課へ申し込みを。→

十条駅西口市街地再開発の建設現場を視察

1日の地域開発特別委員会では、十条駅西口市街地再開発の建設現場を視察。高層棟は最上階の39階と5階の居室を内覧、商業施設や公益施設が入る低層棟は周辺を歩いて視察しました。昨今、多くの弊害が指摘されるタワーマンション。今後、まちづくりの手法としてふさわしいのか、検証が必要です。（のの山けん）

ほぼ完成の高層棟（左）と建設中の低層棟

住む場所とは思えない39階からの景色